

令和6年度 自己評価

評価項目	運営委員の自己評価	区役所の評価
(1)区民間の交流を促進しているか	「今日のつづき」等、各コーナーの更新や、誰でも書き込める「掲示板」等を通して区民間の交流を促進している。記事の感想や問い合わせなどはグループ内にフィードバックして、できるだけ早く対応している。取材を重ねることにより、掲載を希望する団体からの依頼も受けるようになってきており、確実につながりが生まれている。	つづき交流ステーションホームページにて、区のイベントや魅力等を発信することにより、イベントの参加など、区民の活動及び交流の一助となっている。また、「掲示板」により、区民どうしでの情報交換が行われている。
(2)区民と行政の交流を促進しているか	つづき交流ステーションが都筑区役所との協働事業であることを周囲に伝えており、「つづき人交流フェスタ」、「都筑縁ジンミーティング」への参加や「イベントカレンダー」等で区政と区民の交流を促進している。	「つづき人交流フェスタ」等への参加により、区民と行政のつながりづくりを行っている。また、防犯情報、イベント情報、講座情報等の広報活動のほか、新設された公共施設の紹介を行うなど、区政と区民の交流を促進している。
(3)都筑区の魅力を区の内外へ発信し、都筑区への関心や愛着を高めているか	「都筑歴史散歩」、「都筑の公園」、「つづき”ひと”訪問」、「都筑いまむかし」「こんなところにナニコレ！」など、都筑の魅力を内外に紹介して都筑区への関心や愛着を高めている。「ナニコレ！」特集は毎回反響が感じられ、前年度の特集をタウンニュースにも依頼。改めて都筑の魅力に気付くきっかけを提供できた。	「つづき”ひと”訪問」、「こんなところにナニコレ！」など、区の魅力を区内外に発信しており、都筑区への関心を高め、魅力の再発見につながる情報発信を行っている。今後も様々な情報を収集し、都筑区の魅力を広く発信してもらいたい。
(4)読者の満足度を把握しているか	区民や区民活動センターからの問い合わせの対応や、アクセス解析等から読者の満足度を把握している。もっとアクセスを増やせるように今後も更新を継続し、記事を提供したい。	アクセス解析等により、読者の満足度を把握している。引き続き、読者満足度の分析やコンテンツの充実等に取り組み、魅力あるホームページ作りに努めてもらいたい。
(5)予算の執行は適切か	2022年8月以降、パナー広告収入が無くなったため2024年度から交通費・制作費などは出していない。製作者に対し、還元できるように収益を得るための工夫が必要。	主要な収入がない状況だが、支出を最低限に抑制することにより、予算の範囲内で事業の運営が行えている。引き続き、財政状況に即した事業運営を行ってもらいたい。
総合的な評価	新たな取材や各コーナーの更新、区のイベントへの参加等を通して、都筑の魅力を内外に発信するとともに、区民間や行政との交流に寄与している。また、HPの見直し、各コーナーの見直しなどにより時代に合った対応を心がけている。特集記事「ナニコレ！」シリーズやつづき人交流フェスタにより、色々な人につづき交流ステーションを知ってもらうことができた。共同展示とクイズは今後も続けたい。	ホームページにおいてイベント情報や区の魅力等を発信するとともに、「つづき人交流フェスタ」への参加を通じて、区民や行政との交流を図っている。今後も引き続き、区民及び新しく住む人や訪れる人に都筑の魅力を伝え、交流のきっかけとなる情報発信をされたい。

以上